

デジタル4次元地球儀ダジック・アース

Dagik Earth

三菱みなとみらい技術館

Mitsubishi Minatomirai Industrial Museum

Goal 9,13

目的：デジタル4次元地球儀ダジック・アースを用いて宇宙から地球全体を俯瞰し、地球規模では雲がどのように動いて見えるか、なぜこのような動きをするのか、私たちを取りまく身の回りの環境について考えながら知ってもらうために開催しました。

実施日時：2018年6月10日（日）11:30～12:20／15:00～15:50

実施場所：三菱みなとみらい技術館 2階多目的ルーム

実施内容：日の光を遮ったり、雨を降らせたりする雲。宇宙から見ると雲はどのような動きをしているのか、デジタル4次元地球儀ダジック・アースを使って学ぶことができます。専任の学芸員がダジック・アースを操作し、子どもたちにも理解しやすいよう二つの実験を交えながら解説しました。実験1ではビニール袋内に熱風を入れ、温められた空気は周りの空気よりも軽くなるため上昇することを実演しました。続いて実験2ではペットボトル内に消毒用アルコールを散布し炭酸キーパーで圧縮した後、解放して一気に圧力を下げて膨張させるとペットボトル内に雲ができることを実演しました。二つの実験を踏まえたうえで、地球規模での雲の動きをとくに日本付近での動き方について詳しく解説しました。参加者からは雲の発生メカニズムと運動の原理を理解でき、家でも実験をして色々調べてみたいと好評でした。最後にロケットで打上げられる人工衛星の役割についても紹介し、参加者にダジック・アースの操作体験をしてもらい終了しました。

